

「モデル事業施設等推薦の基本的考え方」

1. 推薦対象施設

本事業への推薦は、全国老人福祉施設協議会に加入する特別養護老人ホーム（各都道府県・政令指定都市 1 施設程度）最大50施設程度が対象となります。

また、令和3年度においてBPSDケアプログラムモデル事業に参加していない施設が対象となります。

2. 本事業対象者

- (1) 特別養護老人ホームに勤務する施設職員2名
- (2) 認知症利用者2名（推薦施設が決定した後、各施設で選考）

3. 対象者の選定基準(変更の可能性あり)

(1) 施設職員

認知症ケアに従事する施設職員であり、所属事業所等の長の承認を得た職員であることとします。

(2) 認知症の人

以下の基準を全て満たす者とします。

- ・ 認知症の人の取り込み基準は、認知症の診断を受けている人（鑑別診断の必要なし）
- ・ BPSD+Qにて重症度得点が3点以上の項目がある者

また、除外基準は以下のいずれかに当てはまる者となります。

- ・ 障害高齢者の日常生活自立度C以上の者
- ・ 会話不能な者（氏名の回答不可）
- ・ 経管栄養の者

4. 募集のスケジュール

9月22日（木）までに全国老人福祉施設協議会にて取りまとめ、認知症介護研究・研修東京センターに提出する運びとなります。

5. 施設募集の目安

協力いただく施設を決定する際は、以下の目安を参考に都道府県・指定都市ごとに 1 施設程度の推薦をいただきたく存じます。

- ・ 認知症ケア向上に取り組みたい施設。
- ・ LIFE に取り組みたい施設。

複数施設が候補の場合は、下記の項目から優先順位をつけるようお願いします。

- ・ 地域の中核を担っている・ほしい